



3月になりました。卒業、卒園のシーズンですね。さて、卒業式で思い浮かぶシーンといえば、「好きな人に学ランの第2ボタンを貰う」風習です。お父さんお母さん世代の事で、もう古いのでは？と思われそうですが、今の女子中高生の間にもまだまだ根強い人気があるそうですよ。

この第2ボタンの風習、いつ・どこから始まったかは様々な説があります。1960年に公開された「紺碧の空青く」という戦争映画の中に、ボタンをあげるもとになったシーンがあります。それは、神風特攻隊の若者が出撃前に、思いを寄せる女の子に軍服の第2ボタンを形見として託するという場面。それを見た若者が真似をして広がっていったとか。また、もう一説は、柏原芳恵さんの1983年のヒット曲「春なのに」の中に「記念にください ボタン一つ」という歌詞があり、この頃卒業式で第2ボタンをもらった女の子たちは、この曲に影響を受けたとも言われています。

ブレザーの学校の場合は、ネクタイを貰うのも人気だそうですよ。

卒業式の甘酸っぱい経験は一生の思い出になります。告白をする際は、身だしなみと一緒に口の中もきれいにしてから臨みましょう！

おざわ歯科医院からのお知らせ



口腔ケアを
しっかりしよう！



唾液検査はじめてみませんか？

一見、きれいに見えるお口の中でも、きちんと調べてみると、様々な細菌がひそんでいます。また、お口の中だけでなく、日常の歯磨きや生活習慣を見直してみると、案外 自分では気付かないところに、落とし穴があるものです。そこで、唾液の分泌量やその能力、お口の中に潜む細菌を調べ、また、生活習慣・食習慣なども考慮しながら、新たに虫歯になり得るリスクを数値として明確にします。

唾液検査によって、あなたのお口の特徴が分かれば生涯虫歯にならないよう予防のアドバイスができます。

むし歯の心配がない人生を送りませんか？



キシリトールとリカルデント

虫歯予防のためにガムを噛むことが、すっかり定番化してきました。コンビニなどには、歯に良いとされるガムが並んでいますね。沢山の種類のガムの中でも特に有名なものが、キシリトールとリカルデントガムです。今回はこれらの違いや効果的な摂取方法をご紹介します。

★キシリトールとリカルデントとは？

■キシリトールとは？

キシリトールは、白樺や樺などの樹木、プラムやイチゴなどの果実に含まれている天然素材の甘味料です。砂糖と同じくらい甘いのに、むし歯菌に酸を作らせず、むし歯菌の活性化自体が抑制されます。



さらに、キシリトールの甘さで唾液が沢山出るので、唾液中のカルシウムを歯にもう一度運ぶ働きが促進され（再石灰化）、歯が丈夫になる効果もあります。

■リカルデントとは？

リカルデントは牛乳に含まれる天然成分の複合体です。「乳製品を多く摂取する人は歯も丈夫である」ということに着目し、開発されました。歯のエナメル質にミネラルを取り戻す再石灰化効果があり、むし歯に強い丈夫な歯をつくることができます。もともとリカルデントに味やにおいはほとんどありません。リカルデント入りのガムやタブレットにはキシリトールが含まれている場合がほとんどです。



★虫歯予防のガム、どうやって選べばいい？

キシリトールもリカルデントも、むし歯になりにくい環境を作るという面では、同等の効果が期待できますので、好きなガムを選ぶ事をお勧めします。ただし、コンビニなどで売っているガムの中には、キシリトールやリカルデントにプラスして砂糖が入っているものもあります。虫歯予防のためには、シュガーレスのガムを選ぶようにしましょう。

少し値は張りますが、歯科専売品のキシリトールガムはお勧めです。甘味料はキシリトール100%。そして市販のものよりもガムベースを少し硬くしてあるので、噛む力を鍛えることができます。

★虫歯予防のガムは食べ方が大事！

キシリトールやリカルデントはすぐに効果が表れるものではありません。だいたい2週間～1か月程度で効果が表れ、その効果を持続させるためには1～2年の摂取が必要といわれています。その後摂取をやめても3～5年は効果が持続できます。ガムは、毎食後の歯磨き後に噛む事をお勧めします。

ガムだけで虫歯や歯周病にならないわけではありませんので、毎日の歯磨きはきちんと行いましょう。また定期的に歯科医院で検診を受け、歯石やプラークを除去してもらいましょう。



おざわ歯科医院

